

2月16日(木)に、今年度末に退職する佐々木史郎教授が、「韓国文化地理の勉強を続けてきて一まだできていないことの数々」と題しまして、宇都宮大学峰キャンパス4B11教室にて最終講義を行い、学生、教職員の他に地域の方約100名が聴講しました。

最終講義は、国際学部マリー教授の司会のもと開催され、国際学部長田巻先生から佐々木先生の経歴及び教養学部時代から現在の国際学部の発展にご尽力いただいたことのご紹介から始まりました。講義では、先生が韓国を学ぶに至った経緯も踏まえながら、オンドルについて、また民家の作りや構造の地域差等をお話しされ、韓国における民家について長年の研究を印象づけるものでした。

佐々木先生のユーモラスな一面も垣間見られた最終講義は、盛大な拍手のうちに終了しました。残りの人生を35年とお話しされていました佐々木先生、今後のご活躍も期待しております。

